

オーナーblog 第11話 「いくせい流で、患者さんの姿勢も変わる」 (2023.11.18.)

ここ数年前から、外来診療をしていると「先生のお陰で気持ちが前向きになります。」「先生と会うのを楽しみで過ごしています。」「先生に会ったら、明日も生きようと思います。」そんなお言葉が頻回になり、“なぜ、そこまで直接伝えたいのだろうか”と考えてみました。

私は他の医者と何が違うのだろうか、“いくせい流”の医療とは言語化できるだろうか。

患者さんへの姿勢（在り方）は、“カンポンさん”の師匠“カムキエン師”に近い。

カムキエン師はタイの開発僧で、日本の葬式仏教ではなく、社会と自然（仏教）の真理を人々に分かりやすく説き、優しく諭される役割を、日々実践されてきた。

NHK 教育「心の時代」に出演されていた坂本僧侶も、彼に弟子入りをしている。

ちなみに、坂本さんは、いくせい塾で瞑想の実践をしていただいた経緯がある。

カムキエン師のもとで修業をされた方は、「一般の人々の眼には、彼は平凡に映ります。しかし、彼に会った誰もが、智慧と慈悲にあふれ、謙虚で誰に対しても善き力となって下さる方と感じます。」スリランカ僧は、「彼の近くにいと、とても楽なのです。言葉は通じませんが、彼の近くにいと、親切心の波動を感じます。ストレスや不安がないのです。この波動は、特別なものだと感じています。」

チャイブーンのスカトー寺で、坂本さん指導の下で修業をさせて頂いた頃、私も一度だけお会いしたことがある。その時の波動が私の中に記憶されている。

いくせい塾で『世の中科』セミナーをボランティアで実施して頂いた、当時東京工業大学、現在タイのマヒドン大学で教鞭をとられている“浦崎雅代さん”が仏教訳をされている you tube をご覧にならいたい。